

## 平成28年度の事業計画

一億総活躍社会実現に向けて緊急に実施すべき対策の中で重視されておりますのが介護離職ゼロについてです。

介護を受けたい人が受けることが出来ず家族を介護するために仕事をやめるという事例をなくすことが介護離職者ゼロの取り組みです。

幸い私たちが事業展開している鳥取県や岡山県新見市及び真庭市では提供サービスも充実しており都会地ほどの問題はないと思います。

しかし、私たちのような地域の介護業界でも慢性的な人員不足であり若い世代に介護業界に興味を持ってもらわないといけない状態にあります。

鳥取県は平成28年2月1日開催された国の第4回介護人材確保地域戦略会議において先進事例として介護の仕事の対するイメージアップのための取り組みを報告しております。

鳥取県での介護人材必要数は平成24年から平成37年(2025年)までに1.21倍に介護認定者になる見込です。介護職員は2012年よりさらに3500人増が必要であり、離職者を踏まえると毎年1200人の新規入職者(純増150人離職率15%として)が必要になってきます。人材確保に向けての鳥取県の取り組みは①中高生の介護仕事体験事業、②中学生の介護ロボット体験事業、③高等学校の進路指導担当教諭に対する介護の仕事の説明会などが行われております。

当法人では、毎年夏休みに高校生、進路指導教諭を対象として日野町、米子市、倉吉市、岡山県新見市、真庭市蒜山の日翔会事業所見学ツアーを行っております。

ツアー参加者の中で入職試験を受ける高校生は70%以上となっています。今後も小中学生の職場体験、高校生の実務者研修、専門学校生の研修受け入れを積極的に行い山間地域ではありますが人材確保に努めていきたいと考えます。

また、介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況等については、岡山県新見市、真庭市平成28年度より鳥取県日野町は平成29年度より実施が予定されています。

日常生活総合支援事業と合わせ各事業所のあるコミュニティーで健康寿命の理解を深める活動をしていきたいと思っております。元気で、地域で、家で生活する高齢者を増やすことにより介護保険料を増加させないことが可能になると思っております。当法人はこの取り組みを地域のため、高齢者自身のために取り組んでまいります。

平成27年度介護報酬改定は、全体で▲2.27%(処遇改善等消費税対応分を除くと▲4.48%)という厳しいもので、平成28年度も基本報酬の引き下げ部分を補うため職員全員があらゆる工夫と改善により利用者、ご家族、地域に今まで以上の貢献ができるように取り組んでまいります。

平成28年度法人目標は「事業推進」「サービスの質の向上」「人材育成」です。

私たちは、新規事業を積極的に推進することにより人材を確保し、育成し、良質なサービスの提供を充実してまいります。

また、職員が生きいきと満足して働けるように、福利厚生充実と処遇の見直しを図り、幅広い人材を育成していきたいと思っております。

## 平成28年度法人目標

1. 事業推進
  - ・各事業所における予実管理
  - ・新規利用者確保
2. サービスの質の向上
  - ・こやまケア推進
  - ・ISOの確実な運用
3. 人材育成
  - ・職員の定着率向上
  - ・資格取得と研修参加の推進

## 平成28年度法人目標達成への取組

1. 事業推進
  - ・各事業所における予実管理  
今年度より各事業所責任者が予実を管理することで目標達成を図る
  - ・新規利用者確保  
各月目標を作成し新規利用者確保の方策を打っていく
2. サービスの質の向上
  - ・こやまケア推進  
ケアの質を上げる取り組みを行う
  - ・ISOの確実な運用  
改訂版の内容を理解し確実な運用をしていくための方策を考え実施する
3. 人材育成
  - ・職員の定着率向上  
各事業所定着率の向上のための取り組みを考え実施する
  - ・資格取得と研修参加の推進  
個人目標に設定し確認を行う

### 計数目標

<input type="checkbox"/> 売上計画	……	984,825 千円	
<input type="checkbox"/> 利益計画	……	31,719 千円	経常利益率 3.2%
<input type="checkbox"/> 資金計画	……	安全性分析から	
		人件費3ヵ月分	156,516 千円の留保
<input type="checkbox"/> 人員計画	……	新卒採用	(15名)

平成28年度事業所数（12事業所）

地域	事業所名称	定員
鳥取県日野地区	特別養護老人ホーム あいご	入所47床.ショート3床
	デイサービスかじか荘	30名
	ケアプランセンター日翔会	
	福祉用具販売貸与事業所 あいご	
岡山県新見市	特別養護老人ホーム ゆずり葉	入所90床.ショート10床
	アルクゆずり葉	30名
	ケアプランセンターゆずり葉	
	小規模多機能ホームにいざとさくらの丘	25名（通15.泊9）
	グループホームにいざとさくらの丘	1ユニット×9部屋
岡山県真庭市	小規模多機能ホーム菜の花	25名（通15.泊9）

平成28年度職員数

平成28年2月	平成27年4月～平成28年2月		平成29年3月
職員数	入職者	退職者	職員数
198名	38名	26名	207名

研修計画

	研修内容	実施月
法人	新人職員研修	4月1日、4日～7日
	日翔会新人フォローアップ研修	7月11日
	管理者研修	6月15日
	こやまケア介護技術コンテスト	7月3日
	中途採用者研修	8月3日、2月15日
	ISO 内部監査員養成研修	9月
西エリア	初級リーダー研修	5、6、7、8、9、10月
	中級リーダー研修	10、11、1、2、3月
	介護技術研修	9月
グループ	新入職員全国研修	4月18、19日
	トップマネジメント研修	6月、10月、2月
	研修プランナー育成研修	8月、1月
	ISO 内部監査員養成研修スキルアップ研修	5月16、17日

## 外部研修参加予定

ユニットケア研修	介護技術や知識に関する研修
コンプライアンスに関する研修	苦情解決に関する研修
給食の質の向上に関する研修	リスクマネジメントに関する研修
労務に関する研修	経理に関する研修
メンタルヘルスケア研修	

## 資格取得に向けて

介護福祉士取得支援勉強会	9月より
介護支援専門員取得支援勉強会	5月より
介護職員初任者研修	平成28年5月～12月
介護職員実務者研修	平成28年9月～平成29年6月

## 会議体制

年間を通して、各種の会議で現状の把握や対策改善を行い、法人全体の運営と管理を行って参ります。

### 会議日程

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本部会議	22	19	17	22	19	16	21	18	16	20	17	10
所長会議	7	2	6	4	1	5	3	7	5	5	6	6
経営会議	20	19	22	20	17	21	19	23	21	18	22	22

## 事業所事業計画

### 1. 特別養護老人ホームあいご

#### 平成28年度事業所目標及び達成への取組

#### 1. 事業推進

- ・各事業所における予実管理

目標：入院者数の減少と短期入所利用者の継続利用

取組：お客様の満足度を向上する事で継続利用に繋げる。

家族様の面会時の近況報告や会話を通して家族様からの信頼を得る。

勉強会を通してケアの質を向上する事で入院するリスクの軽減に繋げていく。

報連相のルールを明確にし、気づきの段階で確実に報告できるようにする。

早期発見、早期対応を行い入院者数の減少に繋げる。

- ・新規利用者確保

目標：すぐに入所出来る待機者を2名確保する

取組：入所申込時に入所の意向を確認する。3ヵ月に1回待機者との連絡を取り状況確認を行う。営業月2回、営業範囲を各居宅、病院とする。退所後は1週間以内に次の入所者を入れる。

目標：短期、新規ショートを年間20名の新規利用者を確保する。

取組：緊急ショートの受け入れ、空床利用の実施、営業月2回、営業範囲を各居宅、病院とする。

#### 2. サービスの質の向上

- ・こやまケア推進

目標：こやまケア月間の確実な実行及び継続

取組：月間活動を確実に実行する。

継続して取り組むことでサービスの質の向上を行う。

後追いし確認する。

目標：お客様から頂いたご意見を誠意に応じていく

取組：お客様アンケートの改善を行い継続していく。

目標：お一人お一人にあったケアを行うことで、ケアの質の向上を目指す

取組：状態観察の勉強会等を行い、状態の変化に気づき、的確に報告できる職員の育成を目指す。

食事、排泄、入浴に関する勉強会を行い、技術の向上を図る。

- ・ISOの確実な運用

目標：ISOの理解と運用

取組：勉強会を行い、改訂版の内容の理解を深める。

第4木曜日にチェック日を設け実施する。

#### 3. 人材育成

- ・職員の定着率向上

目標：働きやすい職場を作り、定着率の向上につなげる

取組：3ヶ月に1回の面談、その他の面談を通して職員の悩み・不安・不満を受け止めることで、仕事に関するストレスの軽減を図る。

ノー残業デーを実施し、仕事への意識を高める。

オフサイト・ミーティングを取り入れ、職員の本音を引き出す。

誕生月有休を計画的に入れることで身体的なストレスの軽減を図る。

3カ月に1回カフェタイムを行い、交流を図る。

・資格取得と研修参加の推進

目標：年間の勉強会や研修に参加する事で職員の能力を引き上げる

取組：年間の勉強会に参加できなかった場合は必ず1週間以内に伝達講習を受けて報告書を提出する。

■行事予定

月	行事内容	月	行事内容
4月	花見ツアー	10月	いきいきひのふれあい祭り 紅葉ツアー
5月	あいご祭り	11月	文化祭
6月	野点	12月	クリスマス会
7月	七夕会、ねう祭り	1月	新年会
8月	納涼祭、家族交流会	2月	節分会
9月	敬老会	3月	ひな祭り会

2. デイサービスかじか荘

平成28年度事業所目標及び達成への取組

1. 事業推進

・各事業所における予実管理

目標：目標件数をスタッフ全員で把握し達成する

取組：事業所会議にて今月の実績、来月の目標件数の確認を行い、行事の声かけの確認も行う。

・新規利用者確保

目標：月2名以上の新規利用者獲得

取組：月1回の居宅への営業（空き情報・行事チラシ）を行う。  
無料体験のアピールをおこない、体験後新規につなげる。

2. サービスの質の向上

・こやまケア推進

目標：1日を楽しく過ごしていただく場の提供・満足度の向上

取組：行事企画の充実・・・30名をめざす。

行事決め会議にてお客様の希望を聞き行事に反映する。

保育園との交流実施。

個別ケアの充実・選べるカルチャー・学習療法の継続。  
 リハビリ要素のある体操、手作業の提供。  
 季節感のある壁面の充実。  
 こやまケア推進月間の取組を行う。  
 クッキング、セレクトメニューの提供。  
 施設評価・お客様アンケート・嗜好調査の実施。  
 毎月のお客様ケアチェックを行い快適に過ごしていただく。  
 環境整備・・・美化委員会とともに計画的に施設内清掃を行う。

・ I S O の 確 実 な 運 用

目標：ISO 既存事業所の継続  
 取組：帳票の整備、手順書の確認、変更時の周知、通所委員会での水平展開。  
 内部監査員研修への参加。

3. 人材育成

・ 職員の定着率向上

目標：働きやすい職場作り  
 取組：職員親睦会の開催。  
 リーダーの育成。  
 ノー残業ダイの実施。(第3金曜日)  
 誕生日休暇の推進。  
 面接の実施。(年2回)  
 資格取得の推進。

・ 資格取得と研修参加の推進

目標：資格取得と職員の力量アップのため研修の積極的参加  
 取組：認知症実践者研修・実務者研修・・・勤務の調整を行い研修参加の推進。  
 介護支援専門員・・・資格取得のための勉強会を行う。(4月より)  
 内部研修への積極的参加の声かけ。  
 県社協主催などの研修に参加する。

行事予定

月	行事内容	月	行事内容
4月	春の音楽会・お花見ドライブ	10月	秋の運動会・保育所交流会
5月	鯉のぼり運動会・かじか農園	11月	スポーツ大会・映画鑑賞会
6月	野点・笹巻き	12月	クリスマス会・演芸会・紙相撲大会
7月	七夕会・流しソーメン	1月	新年会・カルタ大会
8月	納涼祭・喫茶 かじか	2月	節分会・喫茶かじか
9月	敬老会・花回廊ツアー	3月	ひな祭り・お客様感謝ダイ

### 3. ケアプランセンター日翔会

#### 平成28年度事業所目標及び達成への取組

##### 1. 事業推進

- ・各事業所における予実管理

目標：目標件数をスタッフ全員で把握し達成する

取組：事業所会議にて実働状況の把握を行う。

- ・新規利用者確保

目標：地区担当制の定着と、包括支援センター、医療機関との信頼関係の維持

取組：地区担当制を定着させ、受け入れ態勢の整備を行う。

地域ケア会議、各種会合への積極的参加。

##### 2. サービスの質の向上

- ・こやまケア推進

目標：相談援助技術の向上

取組：相談援助技術の勉強会を行い、相談援助者としての力量を向上させる。

- ・ISOの確実な運用

目標：ISOのスタッフ全員への周知と確実な運用

取組：作成した書式の運用とPDCAサイクルの定着、仕組み作り。

内部監査員研修への参加とスタッフへの伝達。

##### 3. 人材育成

- ・職員の定着率向上

目標：仕事の効率化による、職員の負担の軽減

取組：地区担当制の定着による職員の負担軽減。

チームでの情報共有、主任介護支援専門員を中心とした助言と精神面のフォローする。

業務改善による仕事の効率化。

- ・資格取得と研修参加の推進

目標：介護支援専門員研修等へ参加し、専門職としてのスキルアップを図る

取組：外部研修への参加と、伝達研修によるチームのスキルアップの向上。

### 4. グループホームにいざとさくらの丘

#### 平成28年度事業所目標及び達成への取組

##### 1. 事業推進

- ・各事業所における予実管理

目標：売上目標を達成する

取組：5日間隔で目標件数との差異を確認し、見込みに対するアクションを起こす。

- ・新規利用者確保

目標：即入居者2名の確保

取組：第1週と3週目に営業に行く。

新見相談員連絡会及び神郷地域ケア会議での情報共有。

月に1回は待機者の状況確認を行う。

## 2. サービスの質の向上

### ・こやまケア推進

目標：居心地の良い環境づくり

取組：文化活動を通じた楽しみの提供。

毎月掃除箇所を決め、環境整備を行う。

接遇研修の実施。(年2回)

### ・ISOの確実な運用

目標：内部監査員のスキルアップ

取組：内部監査員の養成。(1名)

事業所内部監査の実施。(5月、9月、1月)

## 3. 人材育成

### ・職員の定着率向上

目標：離職者0を目指す

取組：面接の実施。(5月、9月、1月、3月)

親睦会の開催。(4月、7月、10月)

さくらの丘 Fes2016 の開催。(7月)

### ・資格取得と研修参加の推進

目標：介護支援専門員 50%合格、介護福祉士 80%合格

取組：外部機関が主催する研修の参加。

有資格者が中心となり、各試験の2ヶ月前から勉強会を行う。

(予定者)

・介護支援専門員 3名 ・介護福祉士 1名 ・実務者研修 1名

・認知症実践者研修 1名 ・認知症管理者研修 1名

目標：内部研修の参加率80%を目指し、スキルアップを図る

取組：個人目標及び教育訓練に計画し、面接時に確認する。

## 5. 小規模多機能ホームにいざとさくらの丘

### 平成28年度事業所目標及び達成への取組

#### 1. 事業推進

##### ・各事業所における予実管理

目標：売上目標を達成する

取組：5日間隔で目標件数との差異を確認し、見込みに対するアクションを起こす。

##### ・新規利用者確保

目標：待機者2名の確保

取組：5日間隔で月間予定表を整理し、外部機関へ空き情報を提供できるようにする。

第1週と3週目に営業に行く。

新見相談員連絡会及び神郷地域ケア会議での情報共有。

## 2. サービスの質の向上

### ・こやまケア推進

目標：居心地の良い環境づくり

取組：文化活動を通じた楽しみの提供。

毎月掃除箇所を決め、環境整備を行う。

接遇研修の実施。(4月、2月)

### ・ISOの確実な運用

目標：内部監査員のスキルアップ

取組：内部監査員の養成。(1名)

事業所内部監査の実施。(5月、9月、1月)

## 3. 人材育成

### ・職員の定着率向上

目標：離職者0を目指す

取組：面接の実施。(5月、9月、1月、3月)

親睦会の開催。(4月、7月、10月)

さくらの丘 Fes2016 の開催。(7月)

### ・資格取得と研修参加の推進

目標：介護支援専門員 50%合格、介護福祉士 80%合格

取組：外部機関が主催する研修の参加。

有資格者が中心となり、各試験の2ヶ月前から勉強会を行う。

(予定者)

・介護支援専門員 3名 ・介護福祉士 1名 ・初任者研修 1名

・実務者研修 1名 ・認知症実践者研修 1名

・小規模サービス計画作成担当 1名

目標：内部研修の参加率80%を目指し、スキルアップを図る

取組：個人目標及び教育訓練に計画し、面接時に確認する。

### 行事予定

月	行事内容	月	行事内容
4月	花見ツアー・親睦会	10月	文化展(合同)
5月	青空バイキング(合同)	11月	紅葉ツアー
6月	野点(合同)	12月	忘年会(合同)
7月	七夕会・そうめん流し(合同) 避難訓練、さくらの丘 Fes	1月	新年会(合同)・どんど焼き・ 避難訓練
8月	花火大会・納涼祭(新郷・高瀬 地区)	2月	節分会
9月	敬老会(合同)	3月	ひな祭り会

## 6. 小規模多機能ホーム菜の花

### 平成28年度事業所目標及び達成への取組

#### 1. 事業推進

- ・各事業所における予実管理

目標：目標件数をスタッフ全員で把握し達成する

取組：職員会議にて目標件数と実績を報告し全員で確認していく。

登録者23名の維持…体調管理を行い早期発見、早期対応を行い入院から登録介助繋げない様にする。

- ・新規利用者確保

目標：待機者の確保

取組：利用申し込み、相談には即対応し、待機へ繋げる。

蒜山地域ケア会議へ出席して各機関との情報交換を行い利用、待機者に繋げる。  
新聞作成、ホームページへの掲載を行い地域へ情報発信をする。

#### 2. サービスの質の向上

- ・こやまケア推進

目標：サービス内容の充実を図り、お客様の満足度の向上に努める

取組：施設間評価、お客様アンケートを行う。

こやまケア月間活動を毎月実施していく。

年間行事計画を作成し、担当者を設け確実に実施する。

「新聞作成」「個人アルバム」「行事DVD作成」を行う。

地域に出向いての行事を実施する。(福祉運動会、文化祭、地域祭り)

嗜好調査を行いお客様の希望に応える。(4月、7月、10月、3月実施)

お客様と一緒に朝顔の苗植え、プランター野菜を作り収穫後は食材として調理に使用していく。

家族会を開催し交流の場を持ち信頼関係を築く。(年2回)

統一したケアを図る為、カンファレンス、ミーティングで検討する。

居心地の良い環境を作る。(環境整備・ワックスかけ年2回)

インターシップ・ボランティアの受け入れを行う。

クラブ活動は蒜山文化祭に展示する作品を作る。

- ・ISOの確実な運用

目標：内部監査員中心にISOを理解し運用していく

取組：内部監査員として他事業所の審査に入る。

サービス委員会で水平展開を行う。

職員会議で、帳票類、手順の確認、運用の確認を行う。

#### 3. 人材育成

- ・職員の定着率向上

目標：働きやすい環境をつくる

取組：年2回の面接の実施。

日翔会親睦会に参加する。

親睦会を開催する。(年2回)

「ありがとう」と感謝の気持ちを言葉にして伝え、職員間の連携を図り、明るい職場を作っていく。

・資格取得と研修参加の推進

目標：スキルアップを目指す

取組：介護支援専門員 2名受

事業所内勉強会、法人研修、外部研修に参加する。

地域の座談会に参加を行う。

■行事予定

月	行事内容	月	行事内容
4月	お花見ドライブ	10月	蒜山地域福祉運動会 地域祭り ミニスポーツ大会
5月	母の日祭 家族会 足湯ツアー&外食	11月	紅葉ツアー 家族会 蒜山文化祭
6月	花回廊ツアー 春の茶会	12月	クリスマス会 しめ縄作り、花 餅作り、鍋パーティー
7月	七夕会 ソーメン流し	1月	新年会 初詣、
8月	菜の花夏祭り 花火大会	2月	節分会 雪灯籠祭
9月	敬老会 御幸行列ツアー 足湯ツアー&外食	3月	ひな祭り会 お客様感謝祭

※家族会 6月、11月に開催する。(年2回)

※お誕生日会・おやつ作りを行う。(月1回)

※クラブ活動は蒜山文化祭に展示する作品を作っていく。

※12月お客様感謝月間で行事を企画する。

7. 特別養護老人ホームゆずり葉

平成28年度事業所目標及び達成への取組

1. 事業推進

・各事業所における予実管理

目標：お客様の体調管理を行い、早期対応を行い長期の入院を出さない

取組：入院されたときは家族の意向を踏まえて治療優先か入所優先かをご家族と相談して、1か月を目安に方向性を出し、入院を長期化させないようにする。

体調の変化がある場合は、すぐに看護に連絡して初期症状で早めの受診、早めの治療を行い、重度化しないようにする。

目標：入所されている 90 名の方の、個々にあったパットの見直しを行い、経費削減に繋げていく

取組：各ユニットでユニットリーダーが中心となり、お客様の排泄パターンを把握し、現在のパット使用数を基に見直しを検討していく。

・新規利用者確保

目標：円滑な入退所が行えるように、即入居者 5 名確保する

取組：毎月の入所判定会議で 5 名を決めて待機者の状況確認を行う。

目標：短期入所生活介護の稼働率 90%以上を維持していく

取組：毎月新規利用者 4 名以上は確保を行って行く。

居宅への営業強化を行い、月 2 回実施していく。

2. サービスの質の向上

・こやまケア推進

目標：お客様に対する接遇・マナーの強化

取組：「あいさつ月間」を（4 月、7 月、10 月、1 月）実施し、お客様や外部の方職員同士でのあいさつが出来るようにする。

言葉づかいや身だしなみ等、セルフチェック表を使用し、こやまケア推進委員がチェックを行い指導していく。

目標：職員が決められたことを守り、継続して取り組める仕組みづくり

取組：ユニットリーダー以上で、ゆずり葉のルールをきちんと職員に伝え指導していく。

：各ユニット会議で、現在の状況や見直しが必要かどうかの検討を行い月 1 回のリーダー会議で報告し、情報の共有を行う。

目標：お客様に安心してもらえるケアの提供

取組：お客様の要望を聞き取り、企画して笑顔を引きだしていく。

：レクリエーション・カルチャーの充実とクラブ活動の実施。

：地域行事への参加を行う。（土下座まつり、御殿町七夕祭り、にいみ雛まつり）

・ISO の確実な運用

目標：ISO 運用の継続

取組：帳票の見直しを行い、帳票類の簡素化を行う。

：内部監査員の資格取得と ISO レベルアップ研修に参加し、スキルを向上させる。

3. 人材育成

・職員の定着率向上

目標：やりがいのある職場を目指す

取組：職員との面談年 4 回実施する。（6 月、9 月、12 月、3 月）

：職員による地域貢献の継続。

（新見ふるさと祭り参加、新見地区ソフトボール大会への参加）

介護福祉士実習生の受け入れを行う。（6 月に 3 名、9 月に 3 名）

誕生日有給休暇取得。

職員に対するストレスセルフチェックを実施する。(6月、12月)

・資格取得と研修参加の推進

目標：介護支援専門員試験で50%の合格率と介護福祉士80%の合格率を目指す

取組：4月より介護支援専門員の受験対策勉強会実施。・・・毎週水曜日 19:30～20:00

介護福祉士は9月から受験対策勉強会実施。・・・毎週水曜日 19:30～20:00

目標：内部研修の充実

取組：毎月の事業所内の研修で、資格者が講師になり進めていく。

多くの職員に参加してもらえるように、勉強会のポスター、開催日の調整を行う。

目標：外部研修への積極的参加を促す

取組：研修の情報を伝える。

個別に職員に提案して参加してもらう。

自分が学んだことを伝達していく場をつくる。

・介護支援専門員10名・介護福祉士1名・初任者研修5名・実務者研修4名

・ユニットケアリーダー研修2名・介護福祉士実習指導者講習2名

認定特定行為業務従事者研修3名・認知症実践者研修2名

初級リーダー研修、中級リーダー研修、中堅研修、中途採用者研修

行事予定

月	行事内容	月	行事内容
4月	花見会	10月	ゆずり葉祭り(全体)
5月	運動会(全体)	11月	お楽しみ会
6月	野点	12月	クリスマス会
7月	七夕会	1月	新年会(全体)
8月	納涼祭	2月	節分会
9月	敬老会(全体)	3月	ひな祭り会

8. アルクゆずり葉

平成28年度事業所目標及び達成への取組

1. 事業推進

・各事業所における予実管理

目標：稼働率75%以上にする

取組：お客様に依頼して休みを振り替えて利用してもらう。

毎月の行事では、定員30名にする。

・新規利用者確保

目標：新規受け入れを月5名以上達成する

取組：空き状況のチラシを毎月1日に居宅、包括に配布する。

毎月の行事の案内も配布する。

## 2. サービスの質の向上

### ・こやまケア推進

目標：職員間の私語をなくしお客様のコミュニケーションを増やす

取組：「接遇・マナーについて」の研修会に参加して勉強する。

送迎時、家族様ご本人様に笑顔で大きな声であいさつをする。

お客様には敬語を使い、職員同士苗字で呼び合う。

職員同士の雑談をしない。

レクリエーション時にはお客様と一緒にやる。

目標：気持ち良く過ごして頂く為、環境整備を行う

取組：毎日の掃除を欠かさず行う。

担当を決めて掃除を行う。

目標：決められた業務ルールに基づいて正確に業務を行う

取組：業務を一覧にして確実に実施する。

リーダー、所属長には必ず報告を行うようにする。

セーフティシートは一人週1枚必ず提出する。

### ・ISOの確実な運用

目標：ISO運用の継続

取組：マニュアルに添って正確に書類を作成する。

内部監査員の研修に参加して資格取得を行う。

## 3. 人材育成

### ・職員の定着率向上

目標：働きやすい職場作りを行う

取組：誕生日月有給休暇取得。

職員との面接。(9月、12月、3月)

職員による地域貢献の継続。

(新見ふるさと祭り参加、新見地区ソフトボール大会への参加)

職員に対するストレスセルフチェックを実施する。(6月、12月)

### ・資格取得と研修参加の推進

目標：職員の資格取得を推進する

取組：4月より介護支援専門員の受験対策勉強会実施。・・・毎週水曜日 19:30~20:00

介護福祉士は9月から受験対策勉強会実施。・・・毎週水曜日 19:30~20:00

目標：内部研修の充実

取組：毎月の事業所内の研修で、資格者が講師になり進めていく。

多くの職員に参加してもらえるように、勉強会のポスター、開催日の調整を行う。

目標：外部研修への積極的参加を促す

取組：研修の情報を伝える。

個別に職員に提案して参加してもらう。

自分が学んだことを伝達していく場をつくる。

- ・介護支援専門員1名・介護福祉士1名・実務者研修1名  
初級リーダー研修、中級リーダー研修、中堅研修、中途採用者研修

## 9. ケアプランセンターゆずり葉

### 平成28年度事業所目標及び達成への取組

#### 1. 事業推進

- ・各事業所における予実管理

目標：国基準の担当件数と同じ介護35件、予防8件という予算にしているが、下げないように維持していく

取組：更新認定で要支援になる方や逆に要介護になる方もある。また、長期に入院される方や退院して来られる方もある。そのあたりの把握をしっかりと行い、件数を下げないため、新規利用者確保で調整をしていく。

- ・新規利用者確保

目標：新規利用者を受けられる状態になった時には、営業を行い、件数を下げない

取組：受けられる状態になった時には、包括支援センター、病院相談員に連絡をし、声を掛けていただくように伝える。

#### 2. サービスの質の向上

- ・こやまケア推進

目標：信頼していただけるケアマネジャーになる

取組：相談事には早い対応、丁寧な対応を行う。また、制度や地域の資源については的確な情報を伝えていく。各サービス事業所等との連携をとる。

- ・ISOの確実な運用

目標：ISO運用の継続

取組：帳票類は日頃から確認を行い、漏れやミスのないようにしていく。

#### 3. 人材育成

- ・職員の定着率向上

目標：ケアマネジャー1名を確保する

取組：職安への募集はもとより、知人等への照会を続ける。

- ・資格取得と研修参加の推進

目標：県単位の研修にも参加していく

取組：岡山県介護支援専門員協会ホームページ等で確認をし、参加をしていく。

## 10. 福祉用具販売貸与事業所あいご

### 平成28年度事業所目標及び達成への取組

#### 1. 事業推進

- ・各事業所における予実管理

目標：販売品に重きを置き昨年より精度を上げ在庫管理を行う

取組：事務所を移転し地域の方や介護保険事業所の方が出入りがしやすい、オープンな事務所として展開し、各お客様の本質的なニーズを拾い上げ必要な物品を見極めていく。27年度、提携した卸会社により、仕入コスト・仕入数を管理し過剰在庫を防いでいく。

・新規利用者確保

目標：販売品（消耗品）の仕入コスト抑え、日翔会内で包括的に商品を提供していく

取組：ペーパータオル・トイレットペーパー、ボディシャンプー、リンスソープ消毒関連等で可能な限り在庫を減らしランニングコストを抑え、日翔会全体の経費を下げる。

2. サービスの質の向上

・こやまケア推進

目標：ケアプラン・モニタリングの自主点検

取組：業務改善を図り、ケアプラン作成担当者を明確にする。自主点検を年4回行い、作成状況の確認と共に選定内容を見直し、サービスの質の向上に努める。

・ISOの確実な運用

目標：ISOに基づいた書類整備

取組：ISOに基づいた書類にて運営をしていく。

3. 人材育成

・職員の定着率向上

目標：職員の働きやすい環境作る

取組：有休休暇が取りやすい環境や面談・職員親睦の実施を行い、チームとしての関わりを強める。

・資格取得と研修参加の推進

目標：「日本車椅子シーティング協会が主催する「シーティングエンジニア」の取得、「福祉用具専門相談員」「おむつフィッター3級研修」「福祉用具プランナー」の資格を取得。

取組：28年度にて受講し取得を目指します。（28年度開催日程未定）